





A decorative graphic on the left side of the page, consisting of a large purple square with a white L-shaped cutout, and a smaller yellow square positioned within the white cutout.

2023年3月期第2四半期 決算説明資料

株式会社フラス

2022年11月

東証グロース：7062

-  **2023年3月期第2四半期 実績**
-  **2023年3月期 通期 見通し**
-  **TOPIX**
-  **Appendix**



2023年3月期第2四半期 実績



マッサージ直営事業が新型コロナウイルス第7波の影響を大きく受けたことにより期初計画未達

決算概況

- フランチャイズ店舗のロイヤリティ収入の増加や訪問看護事業の売上が堅調に推移したこと、また看護小規模多機能型居宅介護施設の新規開設等により売上高は前年同期比6.6%増の**2,206百万円**。
- 新型コロナウイルス第7波の影響を大きく受け、マッサージ直営事業においては利用者数減少や施術者のコロナ罹患により施術回数が計画未達になったこと、また看護小規模多機能型居宅介護事業の新設による先行投資によって**営業損失18百万円**を計上し、通期業績予想を下方修正。

2Qの取り組み

- マッサージ直営事業では、高頻度でのサービス提供の推進を継続し、利用者1人当たりの月間利用回数・施術者1人当たりの施術回数が高水準を維持。適切な人員配置を強化。
- 看護小規模多機能型居宅介護施設の運営・営業力の地盤固めに注力。
2022年7月にフレアス看護小規模多機能水戸開設。

拠点展開

- 在宅マッサージ拠点数 **354拠点** (2022/3末) ⇒ **365拠点** (2022/9末)
- 訪問看護 拠点数 **8拠点** (2022/3末) ⇒ **8拠点** (2022/9末)
- 訪問介護 拠点数 **2拠点** (2022/3末) ⇒ **2拠点** (2022/9末)
- 看護小規模多機能型居宅介護施設
1拠点 (2022/3末) ⇒ **2拠点** (2022/9末)



2023年3月期2Q決算の概要

- 新型コロナウイルス第7波の影響を大きく受けたものの、フランチャイズ店舗のロイヤリティ収入の増加や訪問看護の売上が堅調に推移したこと、看護小規模多機能型居宅介護施設の新規開設等により売上高は前年同期比6.6%増の2,206百万円計上。
- 新規事業拡大に向けた先行投資やマッサージ直営事業が新型コロナウイルスの影響を受けたことにより営業損失18百万円を計上。

(百万円)	2022/3期	2023/3期		対前年同期比	対期初計画比
	2Q実績	2Q期初計画	2Q実績		
売上高	2,070	2,390	2,206	6.6%	92.3%
売上原価	1,024	1,154	1,135	10.8%	98.3%
売上総利益	1,045	1,236	1,071	2.5%	86.7%
販管費	925	1,198	1,089	17.7%	90.9%
営業利益	119	37	▲18	—	—
営業外収益	4	7	7	73.1%	99.8%
営業外費用	4	4	4	▲0.6%	99.7%
経常利益	119	36	▲15	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	91	9	▲24	—	—
1株当たり当期純利益	39.40	3.91	▲10.50	—	—
売上高総利益率	50.5%	51.7%	48.6%	▲3.9%	—
営業利益率	5.8%	1.60%	—	—	—
経常利益率	5.8%	1.50%	—	—	—

四半期別業績推移

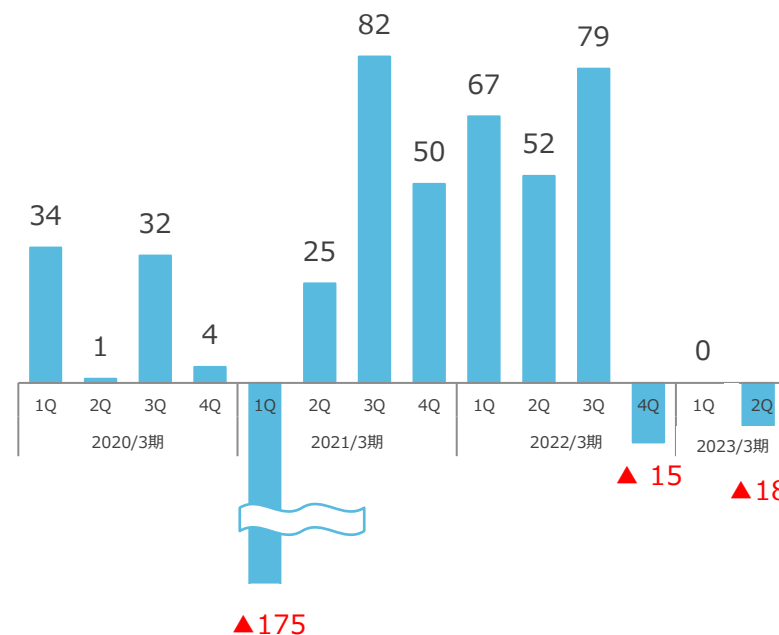
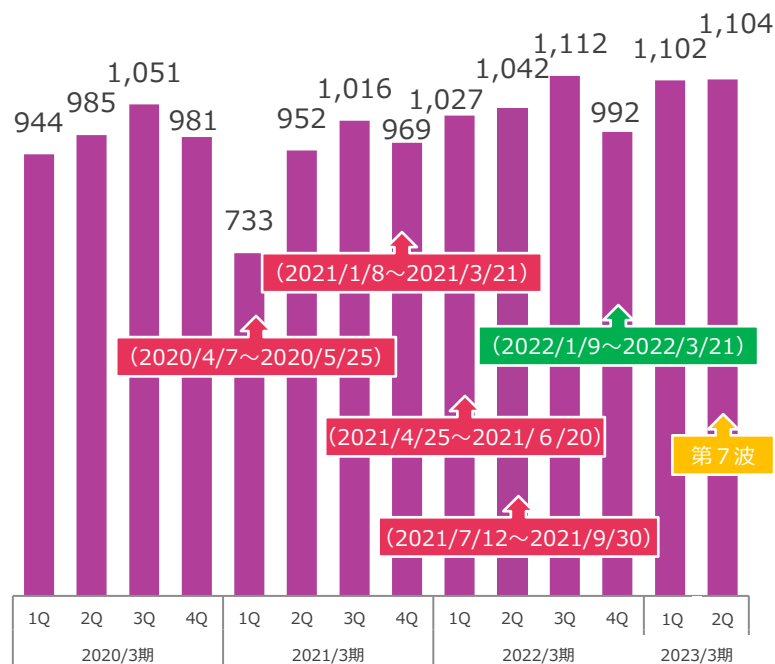
- 新型コロナウイルス第7波による影響を大きく受けたものの、売上高は新規事業の開始に伴い増加傾向。
- 看護小規模多機能型居宅介護施設の新規開設による費用、マッサージ直営事業の新型コロナウイルス第7波による影響を受け、営業損失計上。

売上高

営業利益

(百万円)

(百万円)



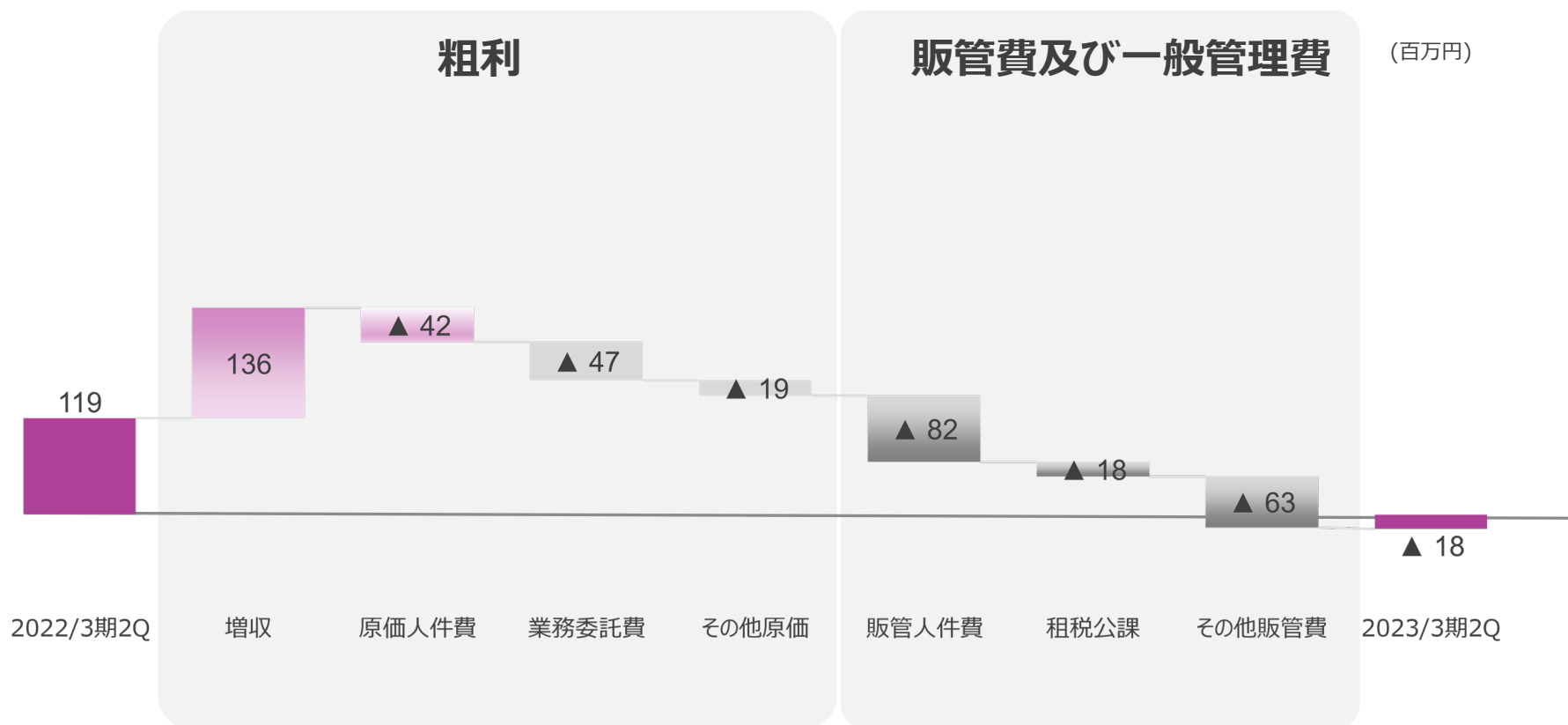
東京都における緊急事態宣言期間

東京都におけるまん延防止等重点措置期間

※全て東京都の緊急事態宣言期間となっております。

2023年3月期2Q 営業利益増減要因（前年同期比）

- 看護小規模多機能型居宅介護拠点開設、訪問看護事業が堅調に推移し、売上高が増加。
- 看護小規模多機能型居宅介護事業に関わる人員体制強化を主な理由とした販管費の増加。



2023年3月期2Q決算（セグメント）

- マッサージ直営事業は、適切な人員配置・高頻度でのサービス提供を維持しつつも、コロナ第7波の影響で売上が計画未達のため前年同期より増収減益。
- マッサージフランチャイズ事業は、ロイヤリティ収入が堅調に推移するも、営業人員増強によって前年同期より増収減益。
- 訪問看護事業は、営業活動を強化し利用者数増加によって31.4%増収し、損失額が減少。
- 看護小規模多機能型居宅介護事業は、拠点新設の先行投資により営業損失計上。

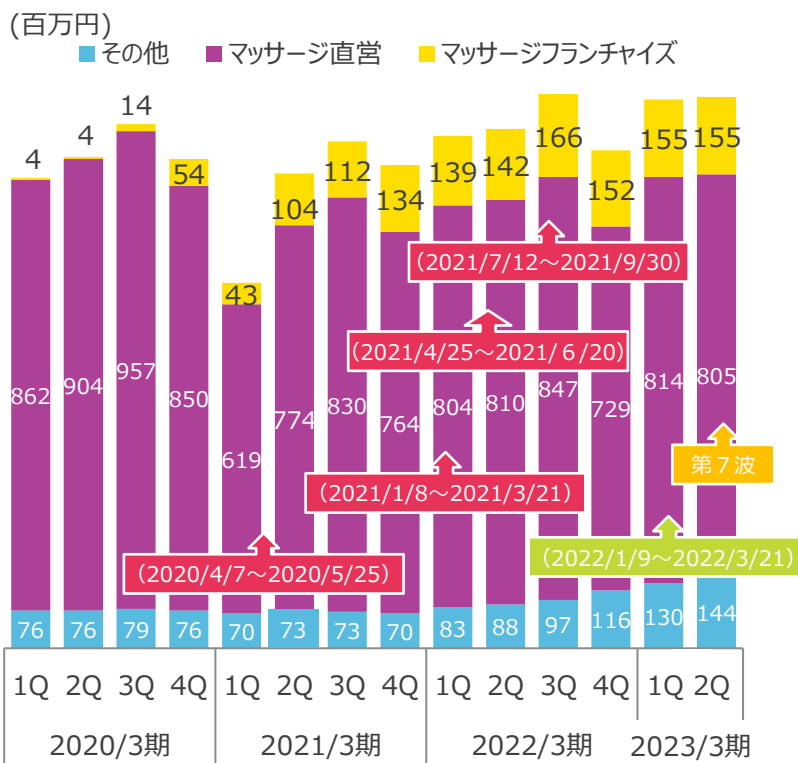
(百万円)	2022/3期	2023/3期		期初計画比 差異	対前年 同期比	対2Q 期初計画比
	2Q実績	2Q期初 計画	2Q実績			
売上高	2,070	2,390	2,206	▲184	6.6%	92.3%
マッサージ直営	1,615	1,735	1,620	▲115	0.3%	93.4%
マッサージフランチャイズ	282	379	310	▲68	10.1%	81.9%
施設系介護サービス	—	61	49	▲12	—	79.7%
その他（訪問看護含む）	172	214	226	12	31.4%	105.6%
営業利益	119	37	▲18	▲55	—	—
マッサージ直営	423	423	364	▲58	▲13.9%	86.1%
マッサージフランチャイズ	76	111	74	▲37	▲2.8%	66.7%
施設系介護サービス	▲10	▲54	▲53	0	—	—
その他（訪問看護含む）	▲12	▲11	▲7	3	—	—
調整	▲357	▲431	▲396	35	—	—
総レセプト数（件）	8,205	9,843	8,542	—	337	▲1,301
マッサージ年間利用回数（回）	327,511	350,734	330,148	—	2,637	▲20,586
マッサージ拠点数（FC含む）	331	379	365	—	34	▲14

※期末総レセプト数は、保険適用のマッサージ+鍼灸サービスの数値を記載しております。 ※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く
 ※期末総レセプト数及びマッサージ年間利用回数は、マッサージ直営事業における数値を記載しております。
 ※施設系介護サービスには看護小規模多機能型居宅介護とホスピスを含めております。

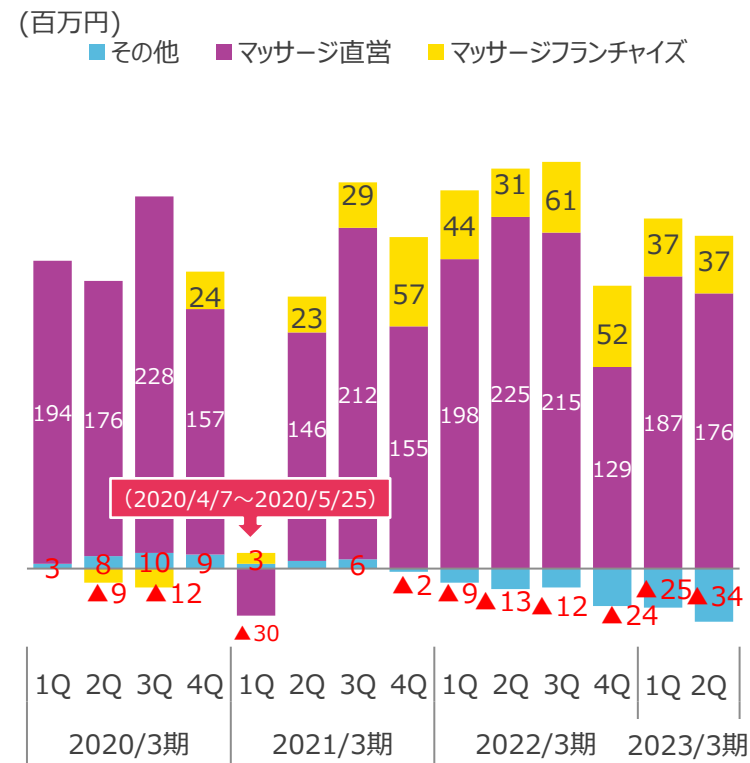
四半期別セグメント業績推移

- マッサージ直営事業は、新型コロナウイルス第7波の影響を受けつつも、高頻度のサービス提供を維持。
- その他セグメントの売上が増えつつある一方で、それに伴い今後の開設に向けた先行投資も増加。

売上高



営業利益



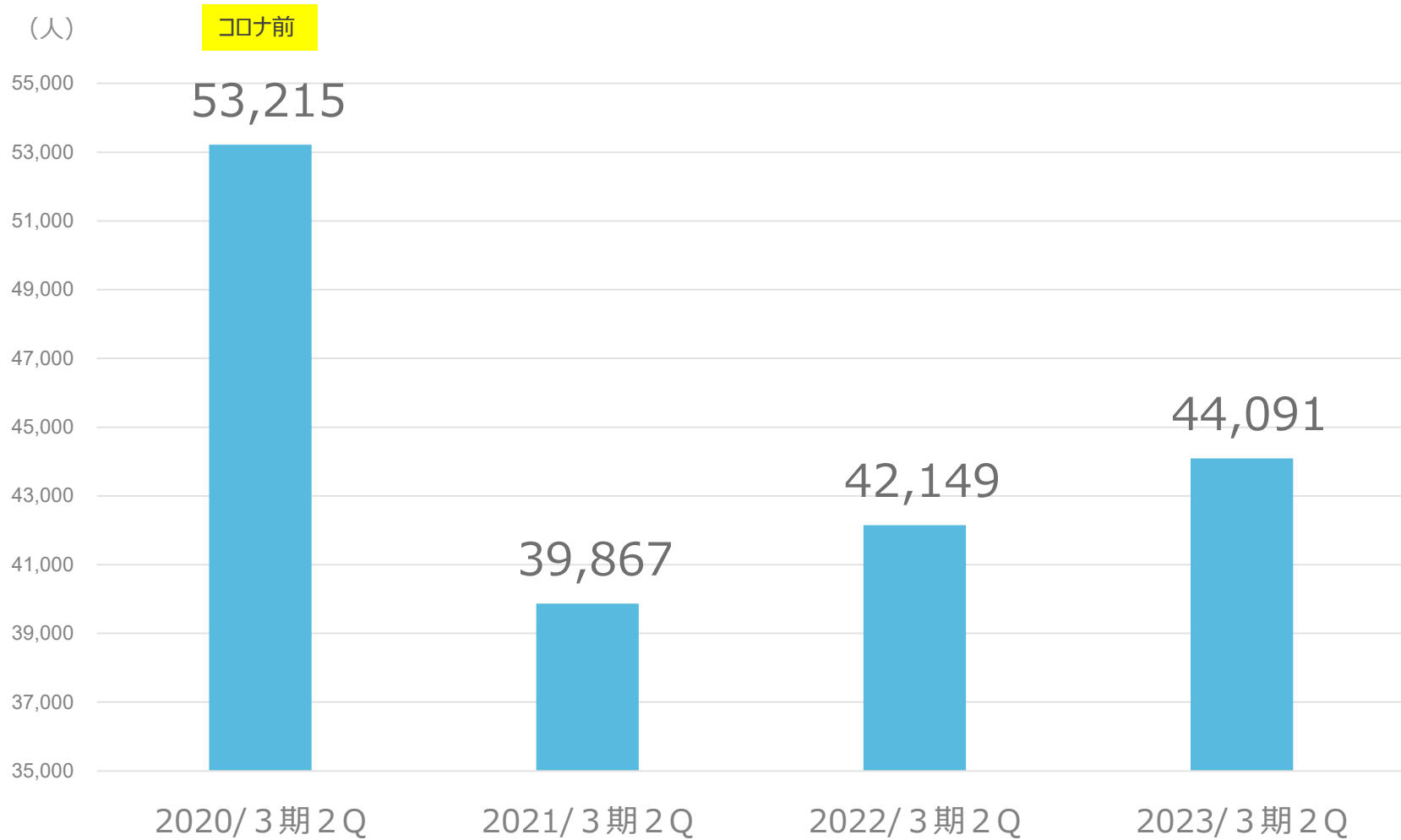
東京都における緊急事態宣言期間

東京都におけるまん延防止等重点措置期間

※全て東京都の緊急事態宣言期間になっております。
 ※その他セグメントに施設系介護サービスを含めております。

KPI：2Q累計利用者数 推移

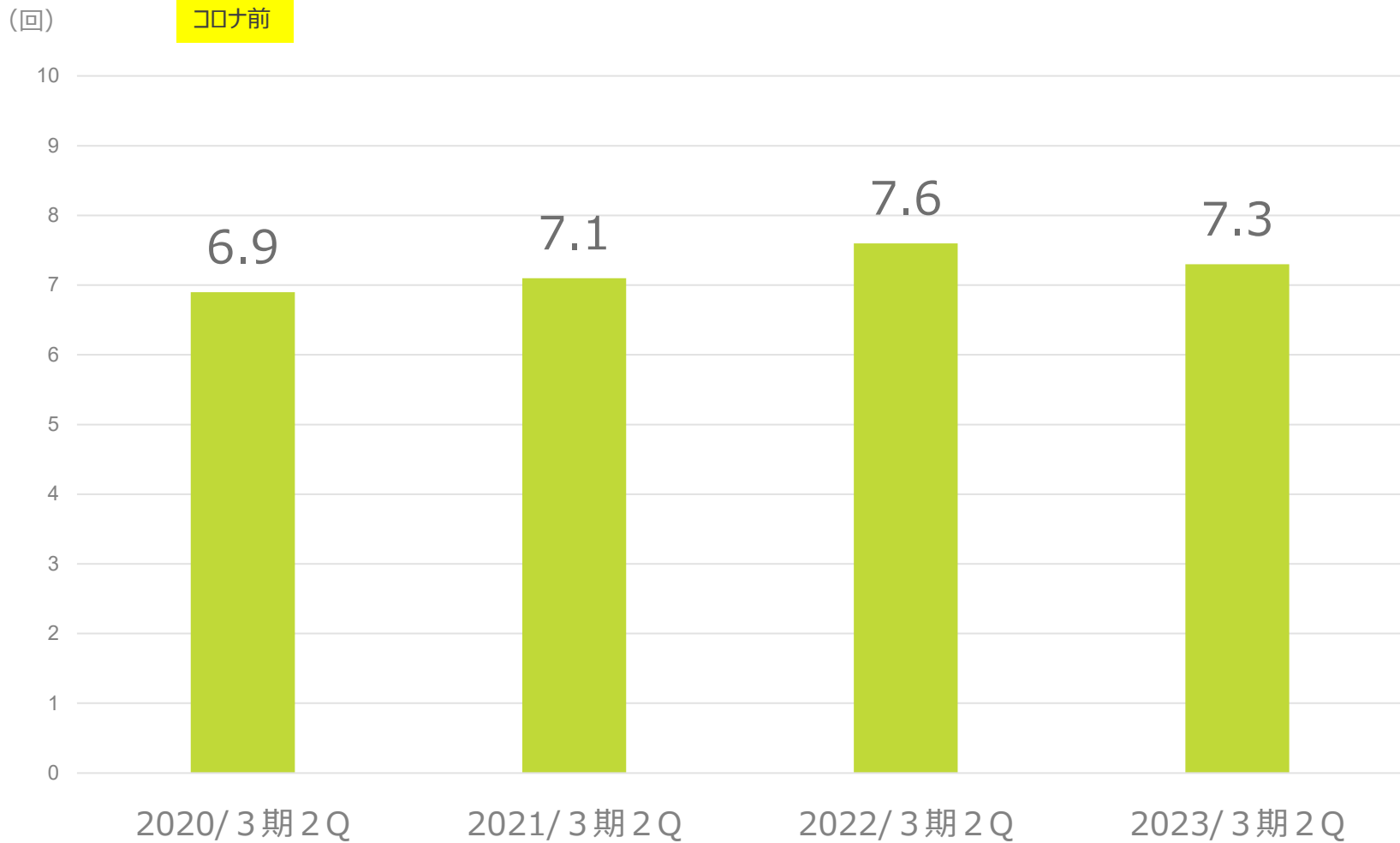
マッサージ直営事業



※利用者数はレセプト数（マッサージ）を使用

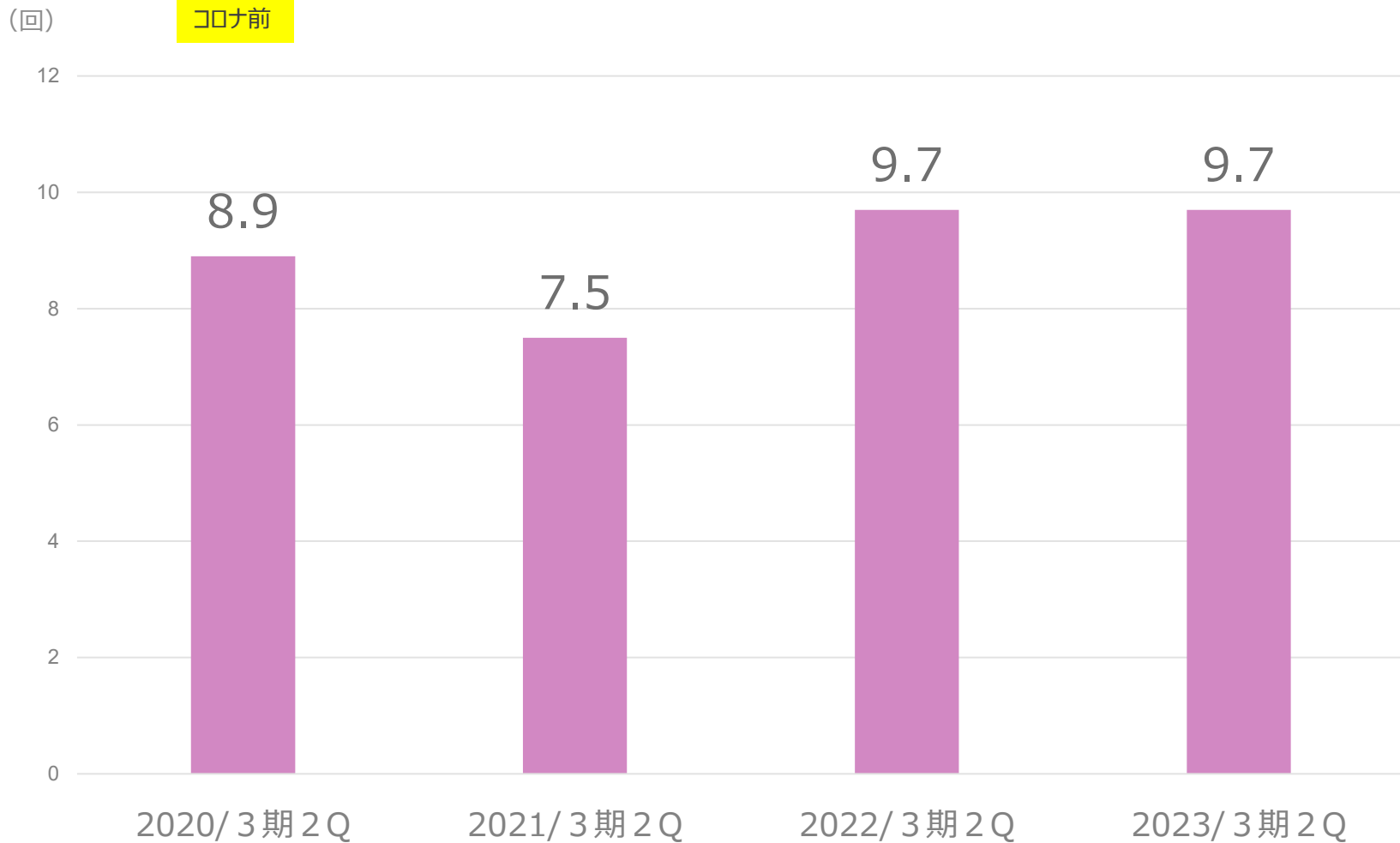
KPI : 2Qの利用者1人あたりの月間利用回数

マッサージ直営事業

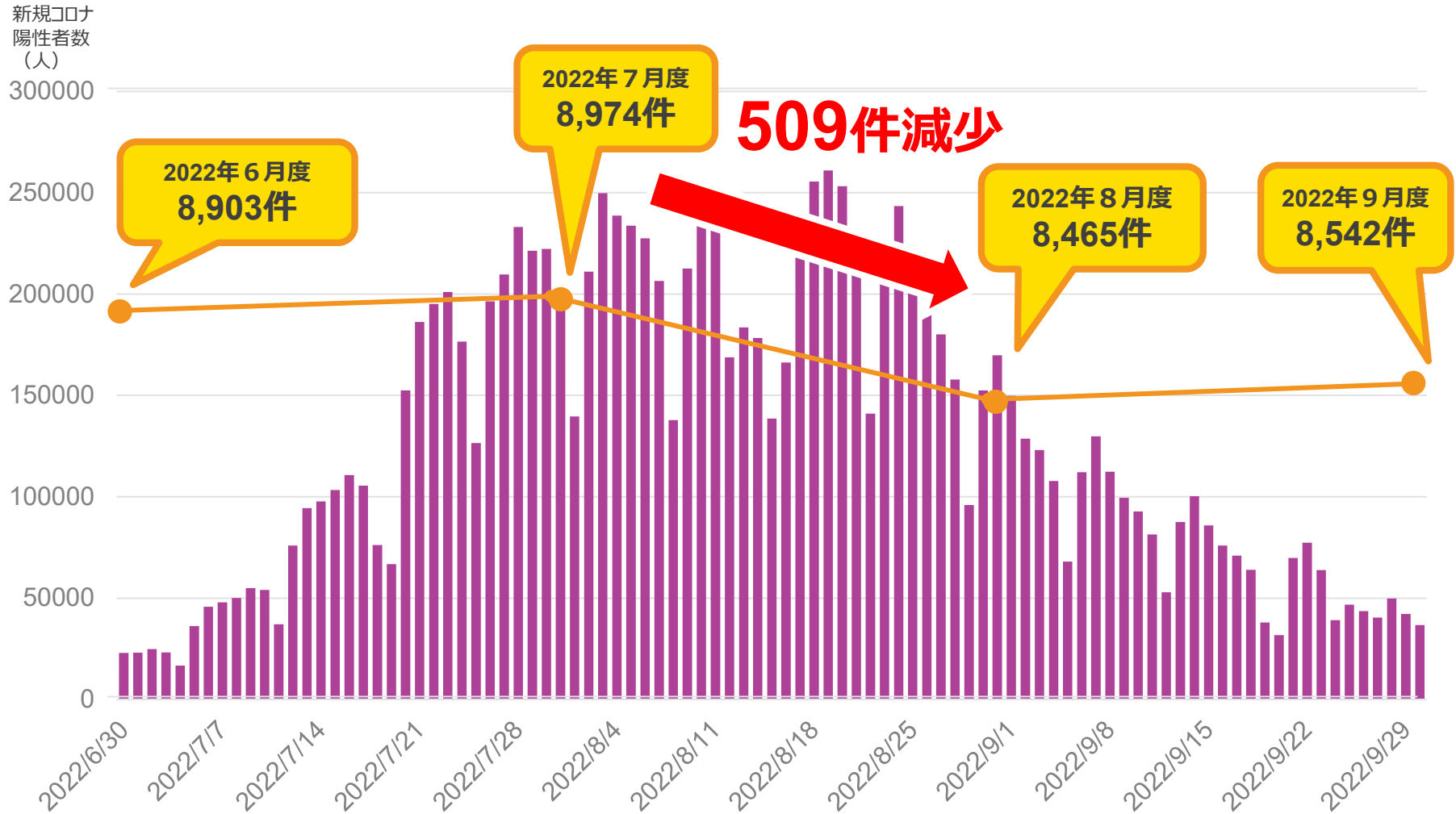


KPI : 2Qの施術者1人あたりの1日の施術回数推移

マッサージ直営事業



マッサージ直営事業



※引用：厚生労働省 データからわかる—新型コロナウイルス感染症情報—
 ※総レセプト数=マッサージ+鍼灸の合計数

2023年3月期2Q 拠点数

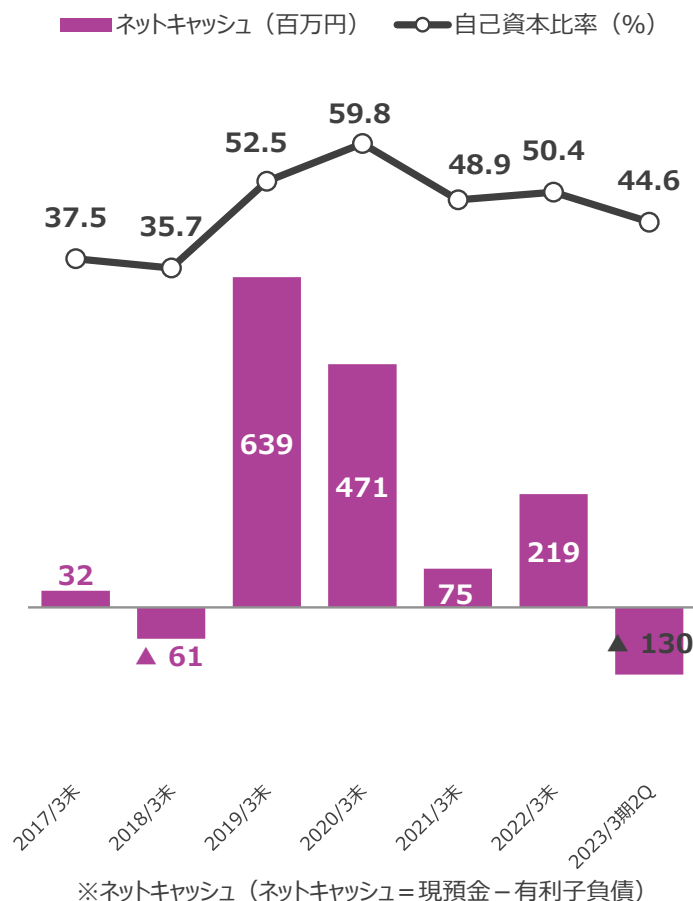
- フランチャイズ新規開設数が20拠点となる。
- 新型コロナウイルス第7波の影響によってフランチャイズ加入検討者の動きが鈍化したことを主な理由として2023年3月期末時点のフランチャイズ加盟店数を296拠点へ修正。

	2022/3月末 拠点数	2023/3月2Q 拠点数	2022/3月末比 増減数	2023/3月末 期初計画	2023/3月末 修正計画
在宅マッサージ	354	365	+11	399	379
うち直営店	85	84	▲1	84	83
うちフランチャイズ 加盟店	269	281	+12	315	296
訪問看護	8	8	—	8	8
訪問介護	2	2	—	2	2
看護小規模多機能 型居宅介護	1	2	+1	5	5
合計	365	377	+12	414	394

バランスシートの状況

- 資産は看護小規模多機能介護施設の開設に伴う固定資産取得や増収に伴う売掛金等の発生により増加。負債は運転資金の借り入れなどにより増加。
- 自己資本比率は44.6%と健全。

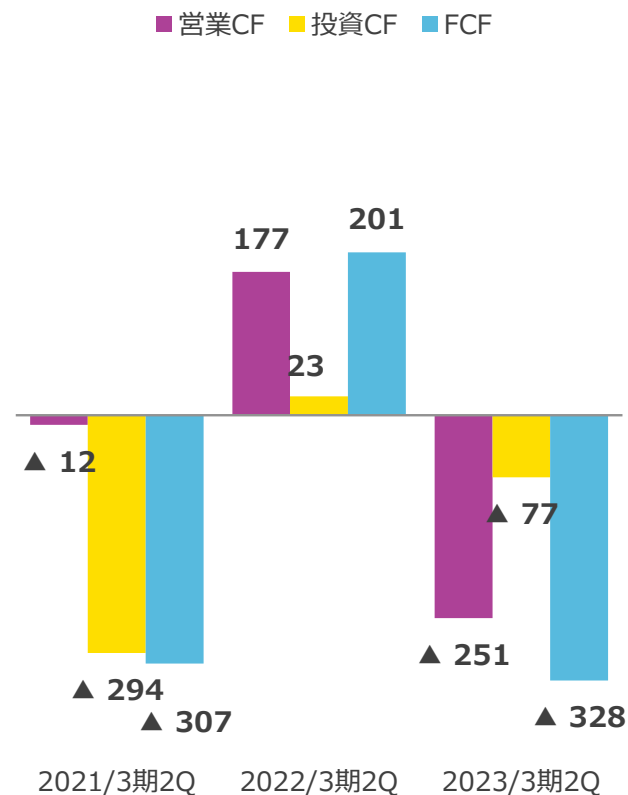
(百万円)	2022/3末	2023/3期2Q	対前期末比
流動資産	2,600	2,793	193
現預金	1,214	1,186	▲28
売掛金	953	1,077	123
固定資産	789	946	156
有形固定資産	138	285	146
無形固定資産	542	545	3
資産合計	3,390	3,740	350
負債	1,671	2,057	386
有利子負債	995	1,316	321
純資産	1,718	1,682	▲36
負債純資産合計	3,390	3,740	350



キャッシュフローの状況

- 税金等調整前当期純損失の計上及び売上債権の増加などにより営業CFはマイナス。
- 看護小規模多機能型居宅介護施設の新設に伴う固定資産の取得などもあり現金及び現金同等物の期末残高は1,186百万円。

(百万円)	2022/3期 2Q累計	2023/3期 2Q累計	対前年 同期比
営業CF	177	▲251	▲428
税金等調整前当期純利益	154	▲15	▲170
売上債権の増減	▲64	▲123	▲59
法人税等支払額	▲16	▲99	▲65
投資CF	23	▲77	▲83
FCF*	201	▲328	▲529
財務CF	18	300	282
有利子負債増減	15	322	307
現金及び現金同等物の期末残高	1,434	1,186	▲248



※FCF (フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー)



2023年3月期 通期見通し



マッサージ 直営事業

- DXを利用した営業活動の推進
- 未来創造ラボ設立によるサービス品質向上
- 人材開発部増強による施術師の採用強化
 - ▶ 独自解析アプリ「さちある」導入による利用者数増加、AR体験アプリのサービス提供開始
 - ▶ 東大と産総研の共同研究によりマッサージの効果検証として着実なエビデンス化が進む
 - ▶ 全国各地の専門学校へ訪問し、ネットワークの構築を強化。臨床実習講師が前年同期比109%増となり誘致材料増

進
捗

マッサージ フランチャイズ事業

- SVによる新規出店 1 か月の営業支援強化による出店後の早期立ち上げ
- 人材開発部増強による採用強化
 - ▶ 各地のSVが地域性にあった、フレアスのノウハウを提供する
 - ▶ FCとの連携構築及び活動強化中

進
捗

施設系介護サービス その他事業

- 看護小規模多機能型居宅介護施設の展開開始
- 自社グループ内での連携（訪問マッサージ、訪問看護、看護小規模多機能型居宅介護）
- 人材開発部増強による採用強化
 - ▶ 2022年7月に2拠点目となるフレアス看護小規模多機能水戸 開設
 - ▶ 同一地域の拠点を集約し、営業効率化推進中
 - ▶ 看護・介護の専門採用チームの発動によって早期採用に貢献

進
捗

2023年3月期 通期 決算予想

- 主にマッサージ直営事業において、新型コロナウイルスの影響は回復基調にあるものの、期初計画より引き続き利用者数の減少やサービス中止による施術回数の減少を見込んでおり、売上高4,684百万円、営業利益52百万と下方修正。

(百万円)	2022/3期		2023/3期			対前期比 (通期修正計画)
	2Q実績	通期実績	2Q実績	期初計画	通期修正計画	
売上高	2,070	4,174	2,206	5,129	4,684	112.2%
売上原価	1,024	2,095	1,135	2,475	2,383	113.8%
売上総利益	1,045	2,078	1,071	2,653	2,300	110.7%
販管費	925	1,894	1,089	2,499	2,248	118.7%
営業利益	119	184	▲18	154	52	28.5%
営業外収益	4	49	7	29	42	87.1%
営業外費用	4	10	4	4	8	81.6%
経常利益	119	223	▲15	180	86	38.9%
当期純利益	91	147	▲24	93	29	20.0%
1株当たり 当期純利益	39.40	63.30	▲10.50	39.88	12.58	19.9%
売上高総利益率	50.5%	49.8%	48.6%	51.7%	49.1%	—
営業利益率	5.8%	4.4%	—	3.0%	1.1%	—
経常利益率	5.8%	5.3%	—	3.5%	1.9%	—

2023年3月期 通期 決算予想 (セグメント)

- ・マッサージ直営事業は、新型コロナウイルスの影響を引き続き見込み、期初計画より大幅な減収減益。
- ・マッサージフランチャイズ事業は、期初計画より▲19拠点、売上高13.5%の減少を見込む。

(百万円)	2022/3期		2022/3期			期初計画比 差異	対前期比 (通期修正計画)
	2Q実績	通期実績	2Q実績	期初計画	通期修正 計画		
売上高	2,070	4,172	2,206	5,129	4,684	▲444	112.2%
マッサージ直営	1,615	3,192	1,620	3,588	3,277	▲310	102.7%
マッサージフランチャイズ	282	601	310	841	727	▲113	121.0%
その他 (訪看含む)	172	372	226	466	459	▲7	123.4%
施設系介護サービス	—	6	49	232	219	▲12	3357.0%
営業利益	119	184	▲18	154	52	▲102	28.5%
マッサージ直営	423	768	364	922	781	▲140	101.7%
マッサージフランチャイズ	76	190	74	275	242	▲32	127.2%
その他 (訪看含む)	▲22	▲20	▲7	12	3	▲9	—
施設系介護サービス	—	▲37	▲53	▲147	▲151	▲3	—
調整	▲357	▲715	▲396	▲908	▲823	84	—
期末総レセプト数 (件)	8,205	8,197	8,542	9,785	9,671	▲114	+1,474
マッサージ年間利用回数 (回)	327,511	647,456	330,148	725,501	670,048	▲55,453	+22,592
マッサージ拠点数 (FC含む)	331	354	365	399	383	▲16	+29

※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く

※マッサージ期末レセプト数(利用者数)及びマッサージ年間利用回数はマッサージ直営事業における数値を記載しております。

※施設系介護サービスには看護小規模多機能型居宅介護とホスピスを含めております。



TOPIX



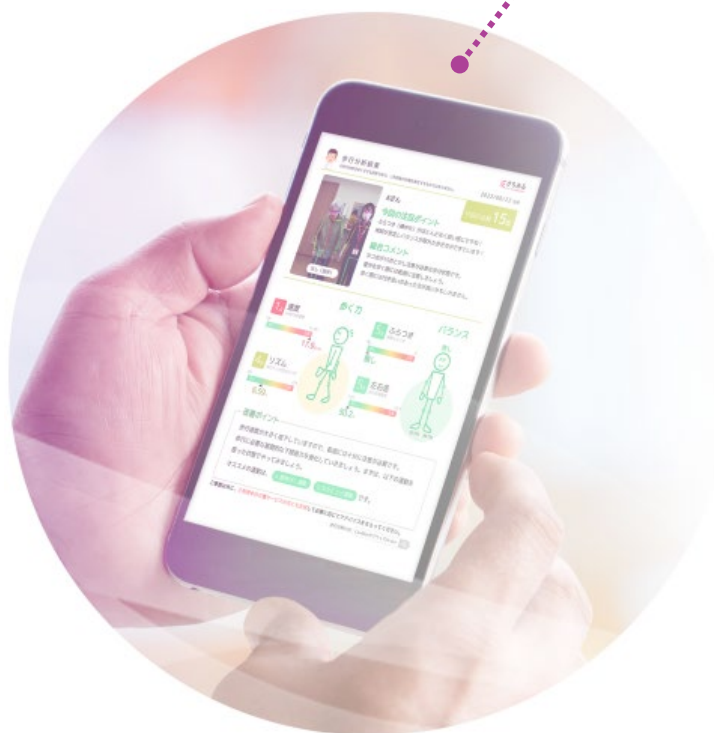
トピックス ① マッサージ直営事業のDX化

- 歩行解析から顧客にあったマッサージ提案が可能な「CareWiz トルト」のOEM提供を開始

スマホ1台
あれば測定可能

在宅医療・療養向け AI解析・課題提案ツール

 さちある
トルト for MASSAGE



フレアスよりコメント
+
トレーニングシート

項目によって
点数が出る
(20点満点)

トピックス②アプリによるAR体験の提供を開始

- 全国初※、スマホで実寸大「**看護小規模多機能型居宅介護 + ホスピスの複合型施設**」のCGを現実の土地の上にのせて、バーチャル内覧できるAR体験を提供開始！



- 360度動画による「看護小規模多機能型居宅介護」施設案内も併せてリリース



VR専用のゴーグルが無くても
パソコンやスマートフォンで
【360度動画】はご覧頂けます



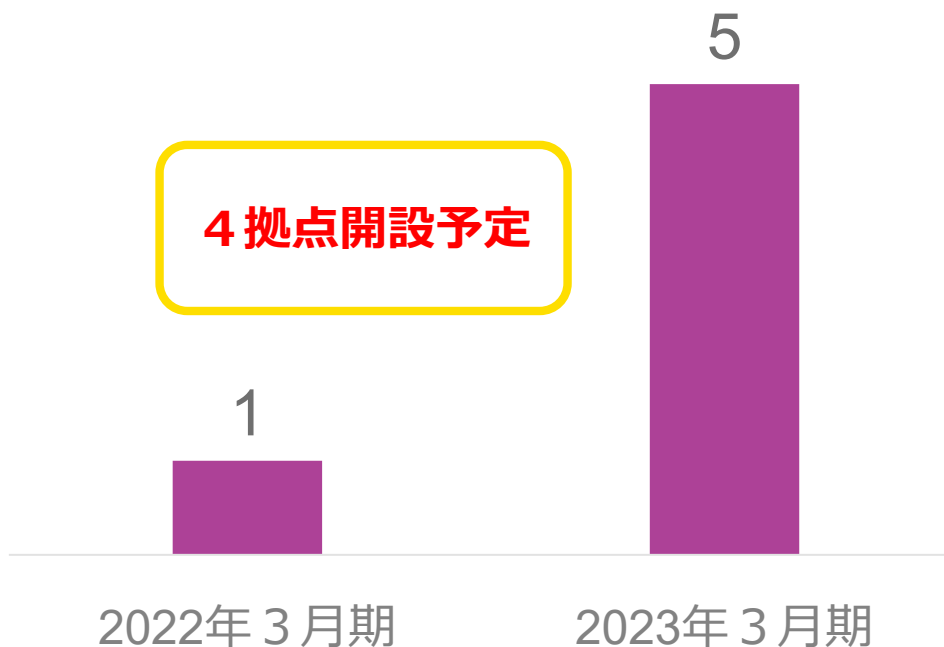
フレアス かんたき 360度動画 🔍 検索

▶ <https://youtu.be/hcG0kMvcJxw>

※当社調べ（2022年10月時点）

エリアを見極めながら新設を推進

看護小規模多機能型居宅介護施設数



2022年11月
3号店越谷に開設！



フレアス看護小規模多機能 越谷

※フレアス在宅マッサージ越谷も併設

2024年3月期 『ホスピス事業開始！』



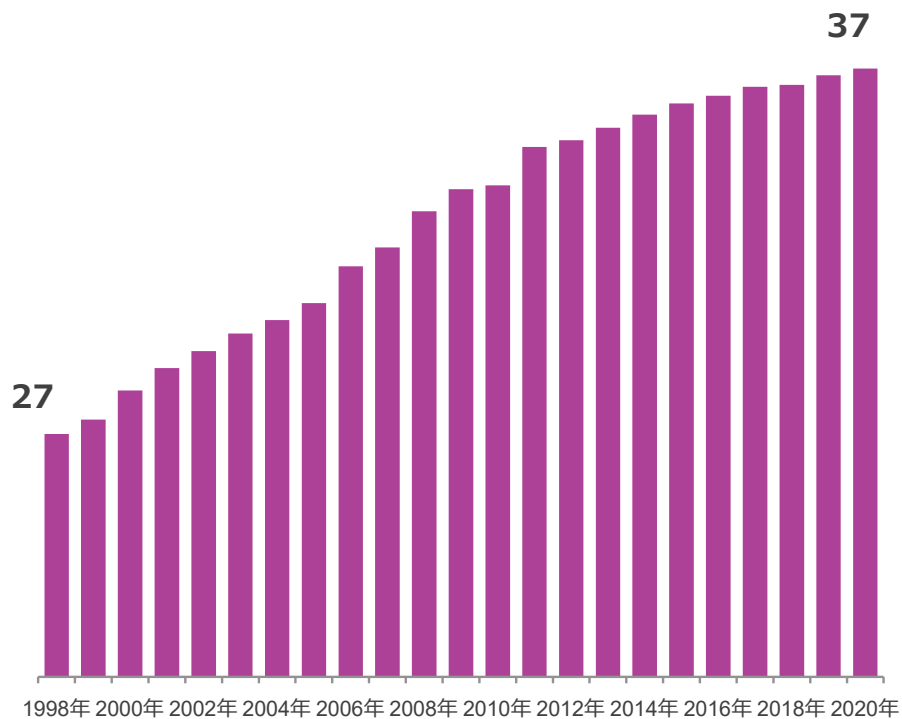
ホスピス事業の市場環境

対象者は増大していく

がんの死亡者数の推移（1998年～2020年）

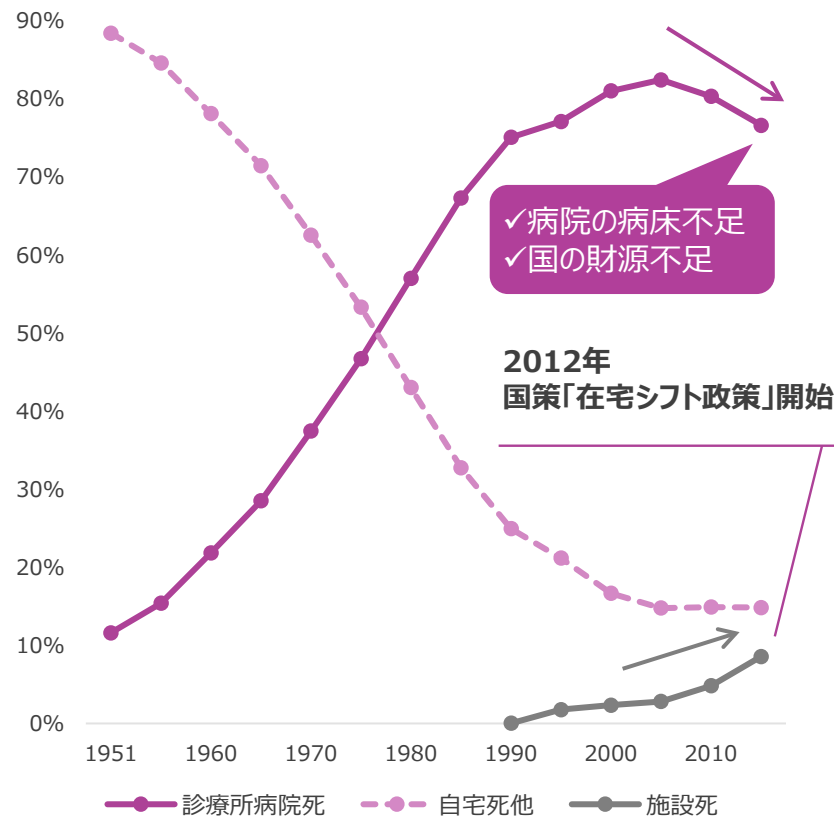
(万人)

1.3倍に増加



出所：厚生労働省 死因簡単分類別に見た性別死亡数・死亡率（人口10万対）

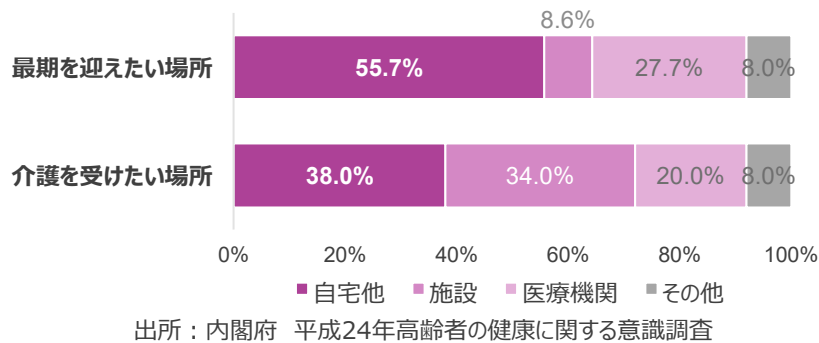
死亡場所(構成比)の年次推移



出所：厚生労働省「平成27年人口動態統計（確定数）の概況」

看取り場所は「在宅シフト」～病床は2025年に30万床不足へ

高齢者の意識調査*



- ◆ 最期を自宅で過ごしたい方が55.7%
- ◆ 国は在宅シフト政策を推進し、病床数減少が続く
- ◆ 終末期のがんやALS等の痛みで在宅療養が困難な方の受け皿が必要となる

フレアスの得意とする在宅領域の
需要が今後も見込める状況

ホスピス需要増

- ◆ ホスピス市場はまだ競争も少なく、ブルーオーシャンである

*出所：厚生労働省「平成29年6月30日第11回医療計画の見直し等に関する検討会」資料

**高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる包括的な地域支援・サービス提供体制

療養から看取りまでカバーすることで、
在宅領域を総合的に支援する企業を目指す

マッサージ

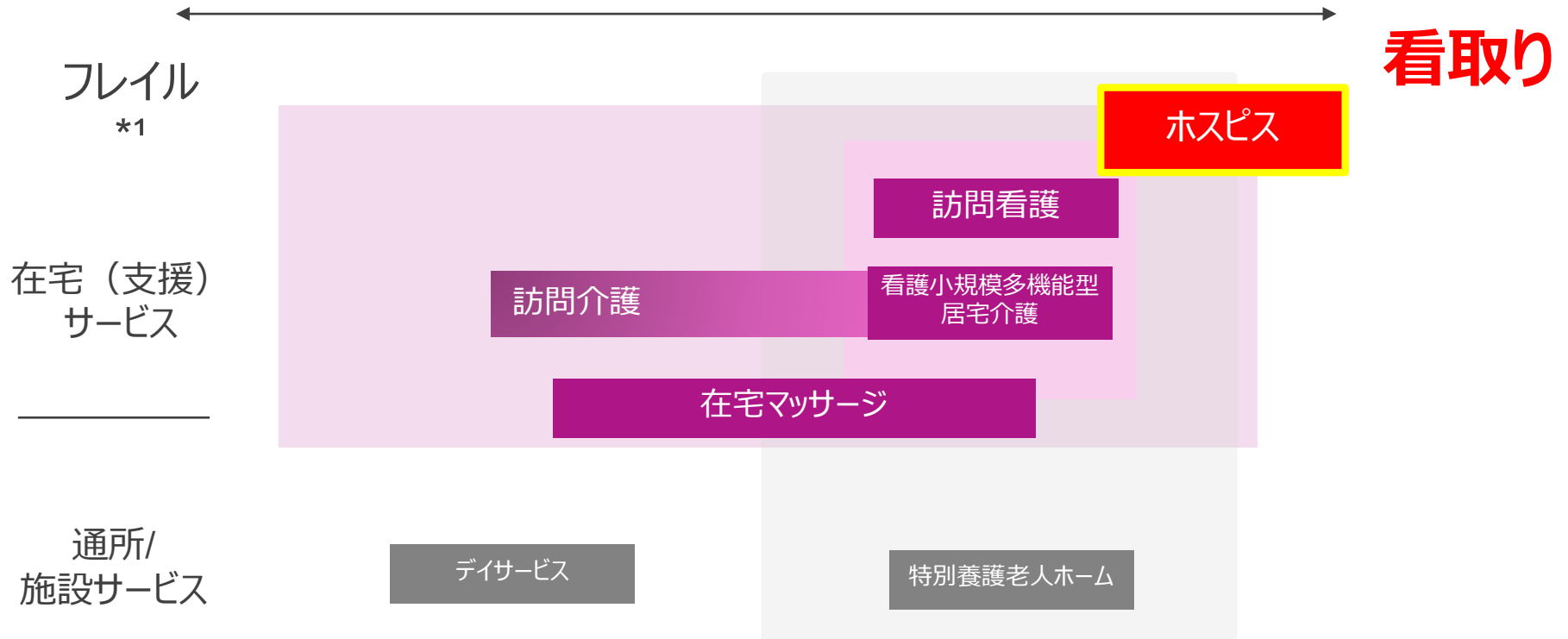


療養から看取りまで
総合的に支援する会社へ

死の概念を変える



重篤度



*1 フレイル：加齢より体力や気力が弱まっている状態

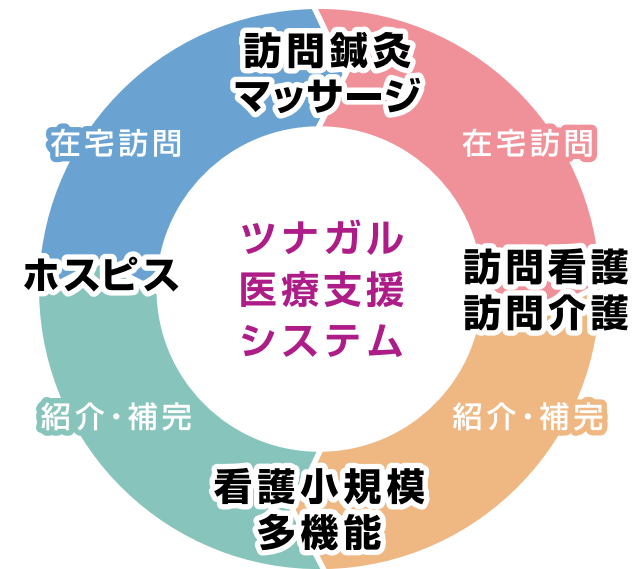
フレアスが提供するホスピスとは

- 末期がんや完治の見込みのない病気等で余命が限られた方に穏やかな最期を迎えていただくためのケアを行う居住型施設で、24時間、看護師や介護士が常駐・訪問しサービスを提供します。



ご利用者様やご家族の状態に合わせて、フレアスの複数あるサービスを組み合わせることで提供することが可能

訪問鍼灸マッサージ・訪問看護・訪問介護・
看護小規模多機能型居宅介護と連携し、
「**痛みの緩和の選択肢の多いホスピス**」
を目指し、「痛みの緩和」と「心地よさ」を提供



ターミナルケアを必要とする方の第2の自宅として最期を過ごしてもらう



APPENDIX





代表取締役会長 澤登 拓

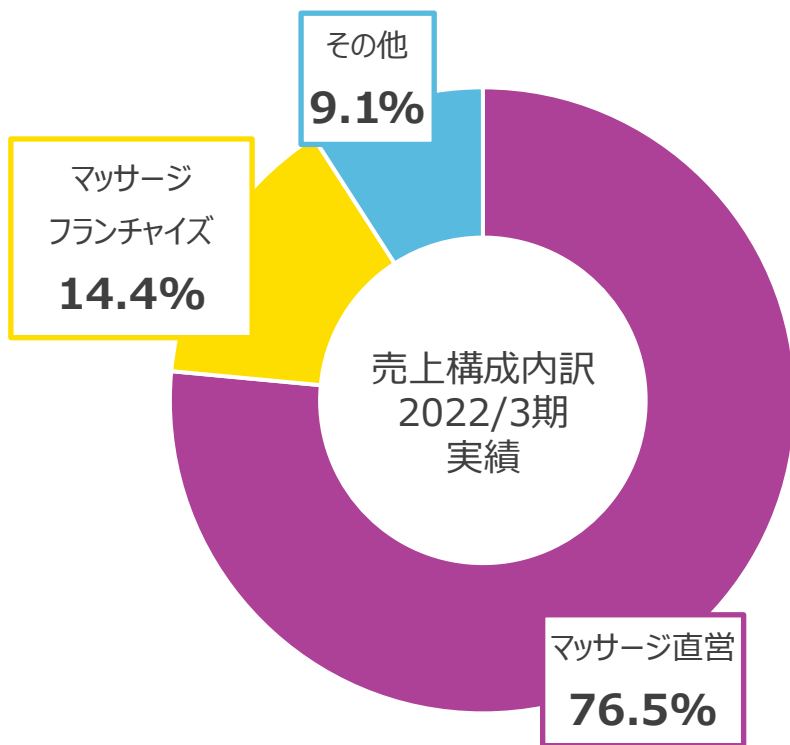


代表取締役社長 関根 竜哉

社 名	株式会社フレアス Fureasu Co.,Ltd.
代 表 者	代表取締役会長 澤登 拓 代表取締役社長 関根 竜哉
創 業 年 月	2000年7月（設立：2002年4月）
上 場	2019年3月
本店所在地	山梨県中巨摩郡昭和町西条1514番地
本社所在地	東京都品川区西五反田2丁目27-3 A-PLACE五反田ビル3階
資 本 金	295,722（千円）〔2022年9月30日現在〕
事 業 内 容	・マッサージ直営事業 ・マッサージフランチャイズ事業 ・施設系介護サービス事業 ・その他の事業
売 上 規 模	4,174,557（千円）〔2022年3月期〕
従 業 員 数	684名〔2022年9月30日現在〕
拠 点	377拠点：在宅マッサージ365、訪問看護8、訪問介護2 看護小規模多機能型居宅介護2 〔2022年9月30日現在〕
連 結 総 資 産	3,740,514（千円）〔2022年9月30日現在〕

* 上記事業数及び事業所のある都道府県には、FC事業者により運営されている281事業所を含む

- 当社事業の9割超はマッサージ事業。活動困難者(介助なしで通院が困難な方 以下同)が対象。医師の指示・同意に基づいてサービスを提供
- その他の事業で訪問看護及び介護などを実施、新たに施設系介護サービス事業として看護小規模多機能型居宅介護事業も開始



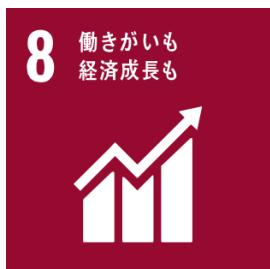
マッサージ直営・マッサージフランチャイズ事業

- 在宅療養者を対象に、医師の指示・同意に基づいて、訪問マッサージ(医業類似行為)を提供
 - ・ 事業所数：365拠点 (FC含む、2022/9末現在)
 - ・ 屋号：「フレアス在宅マッサージ」「レイス治療院」

施設系介護サービス事業・その他の事業

- 利用者宅や高齢者施設等への訪問看護事業が主体
- 訪問看護・介護ステーション・看護小規模多機能型居宅介護事業所を運営(12拠点、2022/9末現在)。高齢や疾病・負傷・障害による在宅療養患者に対し、医師の指示・同意に基づいて、看護を提供
- 「理学療法士」による訪問リハビリテーションも展開

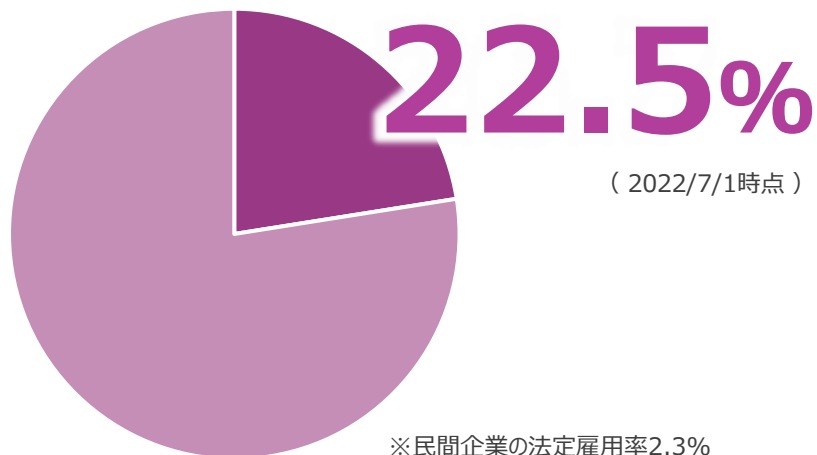
- 盲学校へのリクルーティングを積極的に行い、自立支援を促し、第一線で戦力としての活躍する場を提供



音声読み上げ機能のついた電子機器や補助器具を貸与
パソコン（PCTカー）、携帯電話（らくらくホン）、iPad、拡大鏡など



当社の障がい者雇用比率



※民間企業の法定雇用率2.3%

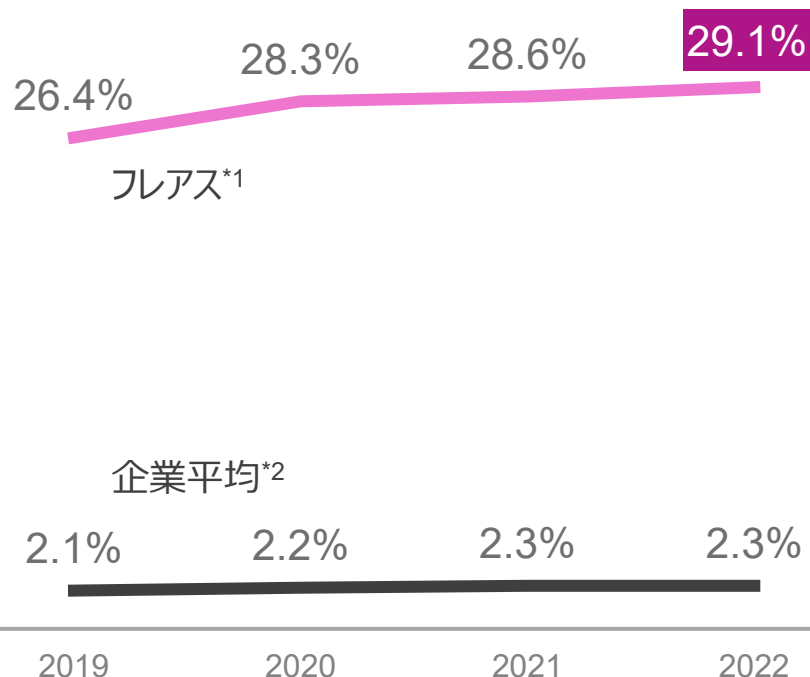
従業員が一定数以上の規模の事業主は、従業員に占める身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の割合を「法定雇用率」以上にすることを義務付けられています。(障害者雇用促進法43条第1項)



障がい者の雇用について

- 視覚障がい者を中心に積極的に雇用しており、これからも働きやすい環境づくりを進める

在宅マッサージ直営事業における
障がい者雇用率の推移*1



働きやすさに関する取り組み例

ViXion
HOYA MW10 HiKARI
fureasu
ViXion社 共同開発オプション / fureasu PLAN



視覚障がい者の施術業務をサポートするために、
“暗所視支援眼鏡ウェアラブルデバイス（MW10）”を
活用した、施術業務支援ツールを共同開発

<https://fureasu.jp/business/massage/visually-impaired-support/service/>

*1 各年7月1日時点
*2 雇用義務のある全企業

出所：厚生労働省、障害者雇用状況の集計結果、令和元年・令和2年

- 経営環境及び財務状況等を勘案の上、業績に応じた利益還元を今後も継続する予定。

配当予想

予想

1株あたり10円57銭（2023年3月期予想）

実績

1株あたり10円57銭（2022年3月期実績）

年月	内容
2000年7月	山梨県南巨摩郡増穂町にふれあい住宅マッサージを創業し、訪問マッサージ事業開始
2002年4月	訪問マッサージ事業を事業目的とし、山梨県甲府市に「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を設立
2005年4月	「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を「株式会社ふれあい在宅マッサージ」に組織変更
2011年1月	ダイヤモンド社より特別賞受賞
3月	東京都港区に東京本部を開設
4月	「株式会社フレアス」に商号変更
12月	株式会社セイジョンより訪問看護事業の営業を譲り受け、訪問看護事業を開始
2012年8月	山梨県甲府市にて訪問歯科診療サポート事業を開始
2014年6月	株式会社ピーアンドエヌより訪問看護事業の営業譲受
11月	やまなし産業大賞 受賞
2016年6月	本店所在地を山梨県中巨摩郡昭和町西条に移転
6月	東京本部の名称を東京本社に変更
2017年4月	株式会社星野リゾートと業務委託契約を締結し、ホテルブランド「界」でのマッサージサービス提供を開始
2018年3月	星野リゾート「リゾナーレ八ヶ岳」でのオイルマッサージ(VINO SPA)サービス提供を開始
2019年1月	個人情報保護に関する第三者認証制度JAPHICマーク及びJAPHICメディカルマークを認定取得
2019年3月	東証マザーズ上場
2019年7月	保険適用マッサージサービスに係るフランチャイズの本格展開を開始
2020年6月	株式会社レイスヘルスケアより新設分割された株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し子会社化
2021年4月	スカイハート株式会社の株式を取得し子会社化
2022年3月	看護小規模多機能型居宅介護事業を開始

決算年月		2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3
売上高	(千円)	2,335,817	2,594,076	2,744,444	2,900,404	3,284,979	3,711,638	3,962,577	3,672,197	4,174,557
経常利益	(千円)	88,908	61,848	88,468	194,400	193,759	313,003	119,700	102,695	223,190
親会社株主に帰属する当期純利益 又は 当期純利益	(千円)	2,169	36,820	52,727	177,869	109,912	176,563	56,879	59,320	147,853
資本金	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	222,750	289,638	290,394	291,924
発行済株式総数	(株)	1,000	1,000	1,000	1,000	100,000	2,250,000	2,328,600	2,332,600	2,336,600
純資産額	(千円)	327,764	364,584	417,312	595,181	705,094	1,307,158	1,497,815	1,559,357	1,718,935
総資産額	(千円)	1,165,691	1,134,022	1,353,270	1,588,572	1,973,936	2,491,623	2,505,483	3,189,895	3,390,360
1株当たり純資産額	(円)	327,764.25	364,584.60	417,312.53	297.59	352.55	580.96	643.23	668.20	731.63
1株当たり当期純利益	(円)	2,169.64	36,820.36	52,727.93	88.93	54.96	88.16	24.48	25.44	63.30
自己資本比率	(%)	28.12	32.15	30.84	37.47	35.72	52.46	59.8	48.9	50.4
自己資本利益率	(%)	0.66	10.64	13.49	35.13	16.91	17.55	4.1	3.9	8.6
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				184,096	▲39,574	292,433	▲99,729	▲99,964	309,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				116,238	▲57,067	▲14,278	▲193,330	▲296,836	▲149,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				▲68,193	379,442	168,071	82,128	464,349	▲160,972
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)				629,738	912,537	1,358,764	1,147,832	1,215,381	1,214,211
従業員数 (内、平均臨時雇用者数)	(名)	491 (-)	541 (-)	534 (-)	582 (173)	615 (167)	617 (178)	672 (180)	593 (150)	625 (166)

* 2021/3期より連結財務諸表を作成しているため、2020/3期以前は参考情報として個別財務諸表に基づく数値を記載

* 2018年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施、また、2019年1月8日付で普通株式1株につき20株の株式分割を実施
2017/3期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり純利益金額を計算

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

<お問い合わせ先>
株式会社フレアス
03-6632-9210
ir@fureasu.jp